

ご挨拶

日本バルカー工業株式会社
代表取締役社長 兼 CEO

瀧澤 利一



謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

読者の皆様には日頃より本誌をご愛読いただき、厚くお礼申し上げます。

米国を源とする金融危機は、世界同時不況の様相を呈しておりますが、バルカーグループは、この厳しい状況も乗り越えさらに持続的成長を可能にする筋肉質の企業体質への変換を図ってまいりました。特に研究開発についてはこの環境変化をむしろチャンスと捉えて「攻め」の投資を継続しております。

昨年、当社研究開発部門では、重要な市場である中国において、シール上海研究所と上海ふっ素樹脂研究所を発展的に融合・統合して、中国総合研究所を新設しました。中国総合研究所の傘下に中国シール研究所と中国機能樹脂技術センターを置き、中国やアジアの顧客ニーズに対して迅速に対応するとともに、日本との連携を強めて研究開発スピードを加速する体制を敷きました。

また、技術・研究開発等専門性の高い分野において、卓抜した実績を有する役員・幹部社員をグループの技術アドバイザースタッフに任命する「フェロー制度」を新設しました。フェローは、当社の将来を見据えた研究開発・技術開発にあたります。また国内外の業界団体・学会への参画・講演・論文等の活動を通して、「グループの顔」としての役割を務めます。

バルカーグループは年来、市場を基点としたグローバルバリューチェーンの整備に努めて来ました。研究開発はこの価値連鎖の重要なチェーンを担い、「R&D はイノベーションと市場の密結合」であるとの信念のもと、日本市場はもちろんのこと世界の市場におきまして、従来にもましてお客様と感動とうれしさを共有するモノ創りとコト創りに励んでまいります。

このように、企業理念 The VALQUA WAY を実践する中で、バルカーグループは、世界 No.1 トータルシールソリューションカンパニーを目指してまいります。

最後になりましたが、今後ともなお一層のお引き立てを賜りますようお願いいたしますとともに、読者の皆様の益々のご発展を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。